

平成21年4月20日
原子力安全対策室

志賀原子力発電所2号機に対する立入調査の結果について

本日、北陸電力㈱より、志賀原子力発電所2号機における漏えい燃料の範囲の特定作業の終了について連絡がありました。

県では、本件に関して、立入調査を実施しましたので、以下のとおりお知らせします。

記

1. 日時 平成21年4月20日（月） 午後5時～午後6時30分
2. 調査者 石川県1名
志賀町2名
3. 調査結果
 - ・漏えいの疑いのある燃料集合体近傍の制御棒(5体)が全挿入され、その状態において電気出力72.5万kWで運転が安定していることを確認した。
 - ・制御棒挿入後、高感度モニタの指示値が安定的に減少していることを確認した。
 - ・排気筒モニタでの放射性物質の濃度の上昇は見られなかった。したがって、外部への放射性物質による影響は見られなかった。
4. 今後の予定
北陸電力では、今後、当該箇所を制御棒を挿入したままの状態での出力上昇に向けた炉心解析を行い、プラント出力を定格まで上昇させる操作を行う。

連絡先 原子力安全対策室 外線直通 076-225-1465 県庁内線 4234
